

告示	番号	9	慢性腎疾患
	疾病名	低形成腎	

低形成腎

ていけいせいじん

概念・定義

腎の発生過程で、何らかの原因により生じる先天性な尿管芽の分岐異常により、組織学的には正常なネフロンを有するがネフロンの数が少ない病態を言う。異形成腎と合併することも多く、臨床的には低形成・異形成腎として一括して取り扱われることも多い。

治療

低形成腎は末期腎不全に至るまで尿量が保たれることが多く、高カリウム血症や溢水を呈することは末期に至るまで少ない。しかし血液データの悪化を認めたからの増悪スピードは速く、先行的移植を考慮する場合は、腎移植実施施設へのタイミングに注意が必要である。

感染症、とくに胃腸炎などの脱水が原因で、急速に腎機能低下が進行する場合がある。脱水に対して適切かつ迅速な加療は必要であるが、低張輸液の使用は低形成腎に対して注意が必要である。

低形成腎の患者は、習慣的に水分と塩分をより多く摂取することによって尿からの水とナトリウム (Na) の喪失を自然にコントロールしている。入院中の食事は普段の食事と比べ塩分量が少なくなるため血管内脱水を引き起こし、体重の減少、血圧低下、尿量低下や腎機能低下を引き起こす可能性がある。

抜粋元： http://www.shouman.jp/details/2_16_35.html